

にほんうちゅうしょうねんだんみなみたねちょううちゅうかがくぶんだん

日本宇宙少年団南種子町宇宙科学分団（南種子町）

□ 地域塾の構成

小学生 59 人，中学生 19 人，
高校生 1 人，その他 23 人 計 102 人

□ 代表者

代表 小西 嘉秋

□ 設立年

昭和 59 年

□ 活動を始めたきっかけ・背景

日本宇宙少年団南種子町宇宙科学分団は、1984 年 8 月 28 日、世界で一番早く結成された宇宙少年団である。当時の NASDA や各関係協力企業、各学校の先生方が中心となり、郷土を知る心、科学する心を養い、国際性豊かな子どもたちを育てようという考えで発足した。

□ 地域塾の目的

明日の未来を担う子どもたちに科学する心を通して、友情の輪を広げ、郷土愛を醸成し、健全な青少年を育成することを目的としている。

団の3つの柱である「サイエンス」（科学する心を養う）、「チャレンジ」（挑戦する）、「フレンドシップ」（友情の輪を広げる）を活動目標とし、達成を図る。

□ 地域塾の特色

科学する心を通じて、友情の輪を広げ、郷土を愛する心を育てている。また、地域公民館等を活用したり、地域人材を講師に招いたりして、地域と一帯となった取組を行っている。ホームページや Facebook を活用して活動を紹介するなど、地域塾の広報にも努めている。

□ 主な活動

- ・ 地域の高齢者とのふれあいや交流、昔遊びなど地域に根付いた活動
- ・ 黒糖作りや農業体験等、地域産業の体験活動
- ・ 「宇宙とロケットの講演会」や「おもしろ化学実験」、「天体観測」など、地元の方を講師等に招いて話を聞いたり、一緒に活動したりして、楽しみながら宇宙や科学の学習を実施

□ 今後の展望

「国際感覚を養い、地球規模で考え、生き抜く創造の力を子どもたちに」をテーマに、青少年期における体験活動の重要性を踏まえながら、様々な活動、活躍の場を子どもたちに提供していきたい。

□ 紹介プロフィール

- 1 長年にわたり活動を継続し、異年齢で活動することで、青少年の育成に努めている。
- 2 団員の中には宇宙留学生も多く、地元の団員や地域の方との交流の場となっている。
- 3 地域人材を活用し地域に根ざした活動に取り組むとともに、子どもたちも企画に参加するなど、更に充実した活動が期待できる。

【活動の様子】

